

国立大学法人山口大学と株式会社山口銀行と萩市との 山口銀行萩支店浜崎出張所の活用に関する連携協定について

1. 目的

山口大学と山口銀行と萩市が各々有する教育・産業・地域資源を活用して、相互の機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材育成に寄与することを目的とする。

2. 連携・協定事項

- (1) 山口銀行萩支店浜崎出張所を活用した地域の活性化と人材育成に関すること
- (2) その他協定の目的を達成するために必要と認められること

3. 背景

萩市浜崎伝統的建造物群保存地区(以下、「浜崎伝建地区」という。)は、江戸時代に城下の港町として発展し、近代以降も蒲鉾やチリメン、干物などの萩市の水産加工の一大拠点として発展してきた。

この間を通じて形成された町並みが現在もよく残されていることから、平成13年に国の「重要な建造物群保存地区」に選定された。

この選定以前から、地元では、浜崎の町並みを保存し、まちづくりにいかすことを目的に地元有志による「浜崎しっちょる会」が結成され、浜崎伝建おたから博物館の開催、古民家の公開・ガイド、御船倉コンサートなど、町並みをいかした様々な活動が展開されている。

一方で、浜崎地区においても少子高齢化の進行により、空き家・空き地が増加しているに加え、山口銀行萩支店浜崎出張所が平成28年9月の店舗統合により無人化され、浜崎伝建地区中心部に空き施設が生じた。

この空き施設を、地域の活性化と人材育成の拠点とし、3者が連携して活用に取り組むため、協定締結の合意に至った。



4. 今後、期待される連携した取組み

(1) 起業・創業支援に向けた活用

山口銀行萩支店浜崎出張所の空き施設を活用し、起業や創業を目指し活動する個人・団体に対し、オフィスの貸与機能を設けた「インキュベーションオフィス」の整備に向けて取り組む。

また、施設には、「コワーキングスペース」※1の機能を併せて整備することにより、異分野・異業種との交流・協働が生まれ、企業活動における相乗効果が期待できる。

この取組みにより、市民のみならず、UJターンでの起業・創業を目指す人材、特に起業・創業に係る資金やノウハウが不足する若い世代への支援が可能となるとともに、地域の情報発信力の向上、既存事業者との連携、そして、同施設内に設置する山口大学のサテライト研究室との連携による、ひとつづくりなどが期待される。

※1 会議室や打合せスペースなどを共有するオープンスペース



(2) 山口大学のサテライト研究室としての活用

山口銀行萩支店浜崎出張所の建物の一部に山口大学のサテライト研究室を設置し、山口大学の各学部における萩市をフィールドとした教育・研究活動の拠点として活用する。

施設が浜崎伝建地区の中心部に位置する特性をいかし、古民家などの空き家の活用手法の研究や、山口銀行萩支店浜崎出張所を活用したエリア再生の提案など実践的な活動において連携した取組みを行う。

さらには、ジオパークや食文化に関する商品開発や観光調査など、これまでの山口大学と萩市が連携した取組みを含め、今後の新たな教育・研究の発展に資する拠点として活用することが期待される。



伝統的建造物の**保存修理**



山口銀行浜崎出張所を活用した取組み（山口大学・山口銀行・萩市の連携）



浜崎地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定（平成13年11月）。萩城下の港町として栄え、格子や虫籠窓の町家が連なる町並み。



平成28年9月の店舗統合により空き施設となった山口銀行萩支店浜崎出張所



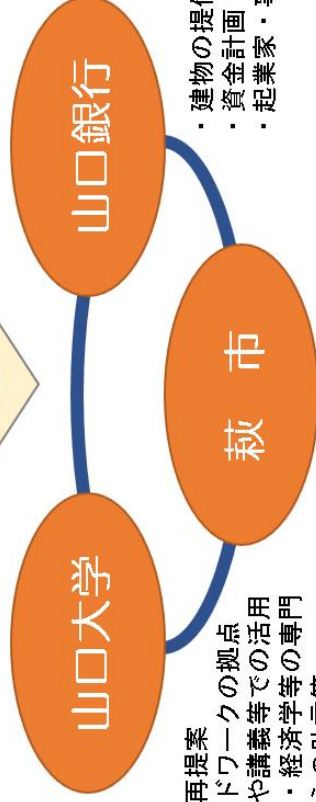
浜崎地区では、住民グループ「浜崎しっちょる会」が「浜崎伝建おたから博物館」の開催や観光ガイドなど、住民主体による地域づくりを実践。



活用例

- ・学生フィールドワークの拠点
- ・研究実践活動の拠点
- ・インキュベーション施設
- ・チャレンジショップ
- ・人材育成セミナーなど

活用



- ・空き家の再提案
- ・フィールドワークの拠点
- ・公開講座や講義等での活用
- ・企業経営・経済学等の専門的知見からの助言等

- ・建物の提供・修景
- ・資金計画・融資
- ・起業家・事業者支援

- ・事業の調整
- ・起業家・事業者支援事業等の実施・運用
- ・地元との調整

効果

- ・学生と住民による協働
- ・新たなまちづくり手法の構築
- ・交流人口の拡大
- ・魅力ある「しごと」の創出
- ・地域の担い手の確保など